

令和4年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体〔12団体〕

【令和4年度選考分】2団体 助成金合計100万円

令和4年8月現在

| 団体名 | 所在地 | 団体概要・活動実績 | 助成対象事業 | | | | 助成金 |
|-------------------|-----|--|-------------------|---------|------------------------------|---|------|
| | | | 交流相手 | 交流人数 | 日程 | 内容（■印は申請書記載の事業名） | |
| 志賀の太鼓連絡協議会 | 石川県 | 志賀町の無形文化財に指定されている「志賀の太鼓のリズム」の伝承と技術向上、後継者の育成並びに県内外や国外に和太鼓の魅力を発信するため結成された団体。毎年11月には主事業である「これでもか！太鼓」と銘打った公演を行い、町内外から800人程度の集客があり、現在では開催22回にのぼる。また、介護福祉施設等への慰問等も年2回のペースで行い、文化芸能の継承と交流人口拡大に繋げている。 | アゼルバイジャン | 派遣 10名 | 令和4年7月 ～(7日間) 令和4年11月 | ■アゼルバイジャン・日本外交関係樹立30周年記念イベント参加事業 東京五輪・パラリンピック大会を契機とし、スポーツの振興、国際交流の促進を目的に事前合宿誘致に取組み、東ヨーロッパのアゼルバイジャン共和国がホストタウンに登録されている。2022年度は、同国と日本が外交関係樹立30周年で様々な記念行事が計画されており、この機会を活用し、地元文化団体をはじめ教育、福祉施設等を訪問し、日本の伝統芸能である和太鼓の普及と日本文化の魅力発信を図る。 | 50万円 |
| 一般社団法人 長崎国際音楽交流協会 | 長崎県 | 国際色豊かな長崎の地で、音楽を通して国際交流を行い、長崎を“音楽の街 ながさき”として交流人口を増やしていくため活動している。また、国内外の素晴らしい音楽に触れることで、長崎の青少年の音楽レベルの向上と、音楽で世界に羽ばたく人材を生み出すことに貢献している。2021（令和3）年12月には「長崎国際音楽フェスティバル プレコンサート2021」を実施。 | 中国 台湾 マレーシア | 招聘 200名 | 令和4年8月11日 ～8月13日 (3日間) | ■長崎国際音楽フェスティバル2022 日本全国でトップレベルの実力を持つ高等学校吹奏楽部を長崎に招き演奏会を開催する。日本国内のゲスト校は4校を予定しており、長崎県内からは12校出場を見込んでいる。また、アジア各国からゲスト校がVTR参加し、演奏会やワークショップを行う。 | 50万円 |

【令和3年度選考分】2団体 助成金合計100万円

| 団体名 | 所在地 | 団体概要・活動実績 | 助成対象事業 | | | | 助成金 |
|------------------|-----|--|-----------------|--------|-------------------------------|---|------|
| | | | 交流相手 | 交流人数 | 日程 | 内容（■印は申請書記載の事業名） | |
| 埼玉県立不動岡高等学校 吹奏楽部 | 埼玉県 | 2017（平成29）年、2019（令和元）年に埼玉県代表として、西関東吹奏楽コンクールへ出場。2017（平成29）年に第1回海外研修旅行を実施し、シンガポールにて交流演奏会等を実施。以降、2019（令和元）年6月にマレーシア、11月にシンガポールより受け入れ、2020（令和2）年3月に第2回海外研修旅行を実施し、マレーシア、シンガポールの学校と交流を重ねている。 | マレーシア シンガポール | 派遣 80名 | 令和5年3月21日 ～3月30日 (10日間) | ■第3回海外研修旅行 マレーシア、シンガポールの公立校へ訪問し、授業参加や合同練習を経て交流演奏会を開催する。マレーシアではホームステイも予定。 | 50万円 |
| グローバルコミュニティ | 沖縄県 | 国際色豊かな街、文化芸能あふれる街、スポーツ盛んな街、子どくさんの街といった沖縄市の特徴を生かし、沖縄市を拠点に人種や年齢というボーダーを越え、人々が健全な精神で交わる場を企画提案、執行し、豊かな心、優しい心が育む地域づくりを目指し活動している。「JICAおきなわ国際協力・交流フェスティバル2020」等に出演。 | 台湾 | 派遣 30名 | 令和3年8月 ～(3日間) 調整中 | ■沖縄市から世界へ元気を 世界から沖縄市へ 愛を！ 沖縄市在住の児童を中心に、様々な国のルーツを持つ子供たちやハンディキャップを持つ子供たちが沖縄の伝統芸能やカホンに取り組み、台湾の三線教室とコラボし、沖縄の歌（島唄、鳥人の宝など）を両国の子供たちで中国語と日本語で演奏する。 | 50万円 |

【令和2年度延期分】8団体 助成金合計400万円

| | | | | | | | |
|-------------------------------|-----|--|-------|---------|--|--|------|
| 秋田県立由利高等学校 (民謡部) | 秋田県 | 秋田県を代表する伝統芸能団体。約50年の歴史があり、平成29、30年全国総合文化祭郷土芸能部門優良賞等、各大会で表彰を受けている。レパートリーは地元秋田県の民謡だけでなく北海道から沖縄まで多岐に渡り、例年7月の定期演奏会には1,000名以上の県内外の観客が来場する等、人気を呼んでいる。 | 台湾 | 派遣 16名 | 令和3年5月 ～(4日間) 調整中 | ■台湾高雄市立文山高級中学との文化交流 民謡部生徒と引率教員を現在交流活動を行っている台湾高雄市立文山高級中学に派遣し、伝統芸能を通じた交流活動を行う。さらに、近隣の小中学校や関係機関においても民謡の歌や舞を披露し、日本および由利本荘市の民謡文化を紹介する。 | 50万円 |
| チームITO | 東京都 | 江戸糸あやつり人形・結城座に20年以上在籍し、退座した人形遣い、稲津（塩川）京子を中心に江戸糸あやつり人形の技術をより多くの人に知ってもらいたいと活動している任意団体。平成26年にマレーシアの影絵芝居とコラボレーションを行って以来、マレーシアを中心とする海外のグループとも交流を行っている。 | マレーシア | 派遣 5名 | 令和3年7月 ～(7日間) 中止 | ■江戸糸あやつり人形とポテヒによる「西遊記」上演 マレーシア、ベナン州で毎年夏に開催される最大級のアート・フェスティバル「ジョージタウン・フェスティバル」において、「江戸糸あやつり人形」と「ポテヒ」のコラボレーションで、「西遊記」を上演する。お互いの技術を学びあい、発展させるとともに、多くのマレーシア人知ってもらう機会とする。 | 50万円 |
| 大正琴新潟友の会内 琴リピック実行委員会 | 新潟県 | 琴リピック実行委員会の母体である大正琴新潟友の会は昭和63年に発足し、新潟県下を中心に、大正琴の愛好者団体となった。全国各地でのイベント出演のほか、スペインサラゴサ万博や上海万博など海外でも活躍。近年は「大正琴を世界に広げよう運動」として、全国から不用になった大正琴を集めて再生し、海外の子どもたちに贈っている。 | 11ヵ国他 | 招聘 100名 | 令和2年8月 令和4年7月21日 ～7月25日 (5日間) | ■「大正琴を世界に広げよう」運動 使わなくなった大正琴を活かそう 「第3回世界大正琴交流大会琴リピック2020 イン新潟」の海外参加者に大正琴を指導し、コンサートホールで演奏を披露してもらう。 そして一人一台、大正琴をプレゼントし、その後もインターネットを使って指導を行う。 | 50万円 |
| 半田ジュニアプラスバンド | 愛知県 | プラスバンドの活動を通して、地域文化の向上と青少年の健全育成を目的に、半田市の社会教育・生涯学習の一環として設立。定期演奏会をはじめ、地域の文化活動に積極的に参加。半田市の姉妹都市であるオーストラリア・ポートマッコリー市の青少年バンドとは平成10年以来、両国で計12回のフレンドシップコンサートを開催している。 | ブータン | 派遣 30名 | 令和4年春～夏 ～(8日間) 調整中 | ■半田ジュニアプラスバンド ブータン王国演奏派遣事業 平成17年の愛・地球博の際に半田市とフレンドシップ相手国となったブータン王国において、野外広場や学校で演奏会等を行う。西洋音楽（特にクラシック音楽や吹奏楽）に馴染みの薄いブータンの青少年に半田ジュニアプラスバンドの子どもたちの演奏を聴いてもらうことにより、文化交流を通じて相互理解を図る。 | 50万円 |
| 兵庫稲美青少年少女合唱団 | 兵庫県 | 平成2年に「地域の子どもたちに音楽の夢を」「歌声あふれる稲美」をめざし創立。毎年海外団体との交歓演奏会を地域の文化ホールで開催している。これまでに兵庫県代表として国民文化祭「合唱の祭典」へ7回派遣されている。また、地元兵庫の民謡・わらべうたを採譜し、合唱曲として発信し続けている。 | チェコ | 派遣 30名 | 令和4年3月 ～(5日間) 調整中 | ■日本・ハンガリー フレンドシップコンサート・交流会 日本の「浜辺の歌」やハンガリーの「緑の森で」等の両国の音楽作品を合同で練習し、ジョイントコンサートにおいて演奏を披露する。事前の交流会では日本はわらべうた、ハンガリーは民族ダンスを紹介し、異国の文化を体験しながら交流を深める。滞在中はホームステイを行う。 | 50万円 |
| シュルンマーリート インターナショナルコンサートの会 | 山口県 | 平成9年に地元山口の音楽大学生達が立ち上げ、音楽を市民に提供することと、音楽を通じた児童の健全育成を図ることを目的に設立。毎年、クリスマスの時期に県内の7～8ヵ所でハンドベル演奏を行っている3年前より演奏と国際交流を目的に、スイスとの交流を始めている。 ※シュルンマーリート＝ドイツ語で子守唄 | スイス | 派遣 10名 | 令和4年3月 (7日間) 令和5年3月 | ■シュルンマーリート スイス演奏交流 スイスの小学校へ行き、音楽の授業でハンドベルの演奏と日本の歌を披露、スイスの子どもたちにハンドベルを体験してもらう。また音楽学校のコンサートにもゲスト出演し、ハンドベルの演奏を披露するとともに、日本・スイス両国のわらべうたと一緒に歌う。 | 50万円 |
| 唐津人形浄瑠璃保存会 | 佐賀県 | 唐津に九州でただ一人の浄瑠璃指導者である竹本鳴子太夫が在任し、県内外での公演活動や伝統芸能の伝承として、子どもから大人まで指導している。唐津やその周辺地域における伝承を目的に、竹本鳴子門下生有志で「唐津人形浄瑠璃保存会」を設立。市内小学校で浄瑠璃指導や定期公演をはじめ、平成29年、30年はニューヨークでも公演を行っている。 | アメリカ | 派遣 13名 | 令和4年6月 ～(5日間) 調整中 | ■唐津人形浄瑠璃保存会 ニューヨーク公演 唐津人形浄瑠璃保存会による三味線演奏、舞踊、歌舞伎、人形浄瑠璃を披露する。言葉の壁を越え、人形浄瑠璃を通じて、日本の伝統芸能を見て理解してもらう。公演後のレセプションでは来場者とも交流を深めて、海外との友好関係を築く。 | 50万円 |
| 長崎交響楽団 | 長崎県 | 昭和45年長崎港開港400年を記念して地域音楽文化の向上と青少年の情操教育に寄与することを目的として誕生。年2回の定期演奏会の他、離島・遠隔地巡回演奏等も手がける。平成7年に米国の姉妹都市セントポール市へ訪問演奏を行い翌平成8年セントポール市民交響楽団と日米初の姉妹オーケストラ提携を結んだ。 | アメリカ | 招聘 50名 | 令和4年6月 ～(7日間) 調整中 | ■長崎交響楽団 50周年記念「もってこい」コンサート2020 長崎交響楽団の姉妹オーケストラであるセントポール市民交響楽団を招聘し、地域交流型演奏会に参加してもらい、音楽演奏を通じた国際交流を行う。滞在中は学校訪問による文化交流、ホームステイによる市民交流も行う。また同時期に開催されるお祭り「長崎くんち」にも見学・参加する。 | 50万円 |